

もしものことに備えて

4 地震発生直後の基本的対応は知っていますか？

- 1 使用中の火を消す。ガスの元栓を閉める。
- 2 電気器具のプラグをコンセントから抜く。また、漏電の危険性がないことが確認されるまで、ブレーカーを切る。
- 3 倒れやすくなっている物・落下しやすくなっている物は、応急措置する。
- 4 負傷者がいれば、応急措置を行う。必要に応じて応援を求める。
- 5 自動車運転中は、ラジオで状況を把握する。避難する際は、連絡先メモを残し、キーは付けたまま、車検証を持って徒歩で避難する。なお、避難者や緊急車両の通行の妨げにならないよう、極力、車道と歩道を避けて駐車する。

<火が出たら初期消火>

- 1 出火の際は、とにかく大声で周囲に知らせる。また、火災報知器を使用する。
- 2 防火用バケツ、消火器、消火栓等により初期消火を行う。
- 3 天井に火が届くようになったときは、すぐに避難する。その際は、扉や窓は延焼を防ぐため閉めておく。

避難する際は、漏電遮断機(ブレーカー)を落としておく。通電が回復した際に、部屋の中が、万が一、ガスで満たされていた場合や断線している場合、通電によって火災が発生する可能性がある。

<建物の崩壊等の危険を発見したら>

- 1 とにかく大声で周囲に知らせる。
- 2 「緊急連絡網」により、担当職員へ連絡する。
- 3 危険地域には、絶対に近づかない。
- 4 重傷者があり一刻を争う場合は、119番通報する。

避難する際は、負傷を回避するために履物(運動靴)をはく。

二次災害の回避のために、初期消火を行い、扉を開け、ブレーカーを落とし、履物をはいて、余震に備えて屋外の安全な場所に移動する。